

【シラバスⅡ】 令和 8 年度 評価規準と評価方法

教科名 芸術		科目名 美術Ⅱ（普通科）		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
4～6月頃	「デザイン「A表現」 (2), 映像メディア表現 「A表現」(3)〔共通事項〕」 ポスター	色の性質や文字の効果、造形要素の働きを理解し、全体のイメージをトーンで表現している。	ポスターの目的や社会におけるデザインの働きについて考え、主題を生成している。	主体的に向上心を持って、平面デザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
7～9月頃	「デザイン「A表現」 (2), 〔共通事項〕」 モザイクブロックデザイン	三面図から立体を構築し、機能美を理解して、計画を基に個性豊かな創造的表現をしている。	目的や機能との調和の取れた洗練された美しさを追求し、創造的な表現の構想を練っている。	主体的に向上心を持って、立体デザインの表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
10～12月頃	「絵画・彫刻「A表現」 (1), 〔共通事項〕」 想像画・風景画	主題に合った表現方法で全体のイメージをトーンで捉え、個性豊かで創造的に表している。	自然や自己を深く見つめ、遠近法や映像表現の視覚的要素等を応用し、主題を生成している。	主体的に向上心を持って、絵画・彫刻の表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
1～3月頃	「絵画・彫刻「A表現」 (1), 〔共通事項〕」 グラスリッツェン	伝統的な様式の良さがわかり、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。	技法の特性を活かし、構成や主題に応じた表現形式を考え、創造的な表現を追求している。	主体的に向上心を持って、工芸的絵画・彫刻表現の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
通年	「作品や美術文化などの鑑賞「B鑑賞」, 〔共通事項〕」	全体のイメージや作風、様式等や造形の要素の働き、具体的な美術史の流れを理解している。	造形的よさや美しさを感じ取り、発想や構想の独自性と多様な視点から考えを深めている。	主体的に向上心を持って、作品や美術文化の鑑賞の創造的な諸活動に取り組もうとしている。
主な評価方法		作品提出、 アイディア・下絵、練習課題等	作品提出、アイディア・下絵等、 作品提出カード、自己評価シート	出席態度、提出状況、行動観察、 感想カード、レポート
その他	1 アイディア、下絵、レポート、感想カード等の制作過程の資料・作品は、評価対象となる。 2 作品は本制作が主体になるが、作品ごとの授業時数や制作工程に応じた下絵の数等により、評価内容の割合に変動がある。			